

「家庭決算書」 Q & A

	家庭決算書について
Q	家庭決算書はどのような内容なのか。
A	<p>家庭決算書は、財産対照表と消費損益計算書という2つの報告書から構成されています。財産対照表は家庭の財産の状態を表すもので、資産、負債と正味財産という内容で構成され、資産は負債と正味財産の合計に一致します。</p> <p>また、消費損益計算書は、家庭の収入から消費を差し引いて消費損益を計算するものです。</p> <p>財産対照表と消費損益計算書はバラバラではなく、両者が一体となって構成されており、どちらか一方が欠けてしまうと家庭の経営には役立ちません。</p>
Q	家庭決算書のスタートは、1月からでないといけないのでしょうか。
A	<p>そのようなことはありません。購入した月から始めて問題はありません。ただ、月の途中から始めるのではなく、その月の初めからスタートすることを、お勧めします。また、当社の家庭用会計ソフト「家庭決算書」は、会計期間を給与所得者の計算期間である暦年基準にしたがい、1月1日から12月31日に確定してあります。</p> <p>したがって、年の途中から開始された場合でも12月31日で決算を迎えることになります。</p>
Q	家庭決算書の作成手順はどのようになっていますか。
A	<p>(1) 現時点の資産や負債の内容を示す「はじめの財産対照表」を作成します。</p> <p>(2) 家庭の消費生活の現金や普通預金などの取引内容を記帳します。</p> <p>(3) これらのすべての取引を科目ごとに分類、集計します。</p> <p>(4) 科目ごとに分類、集計されたすべての取引を、決算を行い財産が増減するものと、収入、消費が発生、消滅するものに分けて、家庭決算書を作成します。</p> <p>(5) 決算で作成した財産対照表を、翌年度へ繰り越します。</p>
Q	今年度版のデータは来年度版のデータに継続できますか。

A	<p>できます。家計簿と違って、今年度版の決算後の財産対照表のデータは、来年度版の最初のデータとして継続していきます。さらに、翌年度版へと毎年、毎年、決算後の財産対照表のデータは、継続していくことができます。</p> <p>ただし、家庭用会計ソフト「家庭決算書」は、年度ごとの集計となりますので、来年度版への繰越は、今年度版の「年の終わりに」の「来年度の財産対照表」の数字を、来年度版の初期設定で、新たに入力していただくことになります。</p>
Q	<p>家庭決算書は、複式簿記を応用して作られていると書いてありますが、従来の家計簿との一番大きな違いは何ですか。</p>
A	<p>従来の家計簿との一番大きな違いは、計算記録の結果が、毎年、毎年、継続して、つながっていくのか、いかないのかと言う点です。</p> <p>従来の家計簿のメインテーマは、「節約・貯蓄」「予算と実績の比較・チェック」でした。しかし、この家計簿は単式簿記といわれ、記録した計算結果は1年で終わってしまい、来年にはつながっていきません。また、家計簿では、クレジットカードや電子マネーなどによる取引や住宅ローンの残高などを即時正確に反映・管理することができません。</p> <p>そこで、このような欠点を補うため、複式簿記の考え方を取り入れた新しい家庭経営のツールとして、考え出されたのが、「家庭簿記」（家庭用複式簿記）です。</p> <p>「家庭簿記」によって作られる「家庭決算書」は、自分達で計算した記録の結果が、1年で終わることはなく、来年へとつながっていきます。</p>
Q	<p>複式簿記と言うと難しそうですが</p>
A	<p>「家庭決算書」を利用するにあたっては、複式簿記や会計の知識をとくに必要としません。</p> <p>現金や預金などの入出金の金額を入力するだけで、自分たちの家庭の「財産対照表」と「消費損益計算書」が計算されて、家庭経営に役立つようになっています。</p>
Q	<p>家庭経営をしていく上で大切なことは。</p>
A	<p>自分の意思で家庭を経営することです。そのためには、自分達にとって必要な正しい情報を入手することです。情報にはマスコミや友人など外部から得られる情報と自分で作った内部情報があります。家庭決算書は自分で作った、自分達の情報で、この情報を持つことによって家庭生活におけるさまざまな場面で、満足できる管理が可能となるのです。</p>

	初期設定について
Q	「消費科目名」がすでに設定されていますが、新たに科目設定を追加したり、変更したりできますか。
A	できます。「日常生活費」と「その他生活費」の科目名は、「消費科目の追加・変更」ボタンを操作することで、30科目まで自由に科目名が設定できるようになっています。
Q	「初期設定」で入力する土地、マンションなどの不動産や有価証券の時価評価額は、すべて厳密に計算しないとだめでしょうか。また一部入力漏れがあった場合、あとで訂正はできますか。
A	「初期設定」は、すべて正しく入力することがベストですが、あとで価額の変更、追加入力など訂正は可能です。まず、現状でわかる金額を入力してスタートすることをお勧めします。
Q	初期設定はたくさん科目があつて、私には難しく思われます。それで、最初の入力は、いま分かる現金と普通預金だけ入力してスタートさせても、問題はないでしょうか。
A	問題はありません。いま分かる財産（たとえば、現金、普通預金、借入金など）を入力してスタートし、あとで分かったものを順次追加計上し、自分たちの財産の内容を充実させていくと良いでしょう。
Q	金残高がマイナスの場合、初期設定の入力は、どのようにしたら良いでしょうか。
A	初期設定の普通預金の残高がマイナスの場合でも、マイナスの金額のまま入力してください。
	入力について
Q	お米券や図書カード等の商品券などは、どのように処理したらよいのでしょうか。
A	<p>お米券や図書カード等の商品券は、現金等価物（通貨代用証券）として処理すべきものですが、現金と区分して扱ったほうが管理しやすいと思います。</p> <p>現在、家庭決算書では、特に区分をしておきませんので、「その他資産」の欄に「商品券」という科目を設定されて、使われるとよいと思います。</p> <p>（１） 現金500円で商品券を購入した場合</p>

	<p>現金入力で相手科目その他資産（商品券）を選択し、</p> <p>支出５００円を登録します。</p> <p>（２）商品券５００円分をプレゼントされた場合</p> <p>振替帳入力で、</p> <p>左方 商品券 / 右方 その他特別収入 ５００円</p> <p>を登録します。</p> <p>（３）商品券５００円で本を購入した場合</p> <p>振替帳入力で、</p> <p>左方 新聞図書費 / 右方 商品券 ５００円</p>
Q	<p>クレジットカードなどで購入した場合、カード会社のポイントが付く場合があります。この場合の処理はどのようにしたらよいのでしょうか。</p>
A	<p>「初期設定」画面の「カードポイント」項目の「カード会社名」欄に当該クレジットカードのポイントサービス名称を登録します。</p> <p>カードポイントが１００ポイント（１００円相当）付与された場合</p> <p>入力処理の「カードポイント」画面から、</p> <p>日付「ポイント付与日」、入出金「入金」、内容「ポイント付与」、相手科目「特別収入ーカードポイント収入」、金額「１００円」を入力し、「登録」ボタンをクリックします。</p> <p>※クレジットカードのポイントには、１ポイント＝１円相当の他に、１ポイント＝１０円相当等のカードもあります。登録の際には現金換算した金額を入力することをお薦めします。</p>
Q	<p>クレジットカードを利用した際、銀行決済時に「割り戻し（割引）」されて引き落としされることがあります。このときの処理はどうしたらいいのでしょうか。</p>
A	<p>クレジットカードを利用して５，５００円のブラウスを購入し、決済時に１０％の割り戻し（５５０円の割引）があった場合の処理方法</p> <p>○購入時の入力処理</p> <p>入力処理の「クレジットカード」から、</p> <p>日付「ブラウス購入日」、内容「ブラウス」、相手科目「その他生活費ー</p>

	<p>衣料費」、金額「５５００円」を入力し、「登録」ボタンをクリックします。</p> <p>○決済時の入力処理</p> <p>１．入力処理の「普通預金」から、 日付「引き落とし日」、入出金「出金」、内容「ブラウス」、相手科目「カード未払金／当該カード会社」、金額「４９５０円」を入力し、「登録」ボタンをクリックします。</p> <p>２．入力処理の「振替帳」から、 日付「引き落とし日」、内容「カード割り戻し」、金額「５５０円」、左方「カード未払金」、右方「特別収入－その他特別収入」を選択し、「登録」ボタンをクリックします。</p> <p>※決済時に１０％の割り戻し（５５０円相当）があることが購入時にわかっている場合、入力処理の手間を省くため、購入時に割り戻し相当額を差し引いた金額（４９５０円）を購入金額として入力する方法も考えられます。しかし、この入力処理を行った場合、スカートの値段は４９５０円と記録され、また５５０円の割り戻し（特別収入）が発生した事実を記録することができません。</p>
Q	<p>定期預金（預入元金５００,０００円、受取利息１,０００円）を解約し、普通預金に入金された場合の処理はどのようにするのでしょうか。</p>
A	<p>定期預金を解約した場合、定期預金の元金部分と利息部分の合計金額が普通預金に振り込まれます。そこで、定期預金の元金部分と受取利息（特別収入）部分の２つの入力処理が必要です。</p> <p>１．入力処理の「普通預金」画面で定期預金の解約金が振り込まれる口座を選択し、入出金「入金」、内容「定期預金元金」、相手科目「定期性預金」、金額「５００,０００円」を入力し「登録」ボタンをクリック</p> <p>２、同じく入力処理の「普通預金」画面で定期預金の解約金が振り込まれる口座を選択し、入出金「入金」、内容「定期預金利息」、相手科目「特別収入－受取利息・受取配当金」、金額「１,０００円」を入力し「登録」ボタンをクリック</p> <p>※定期預金の解約金を現金で受け取った場合は、入力処理の「現金」画面から、上記同様２つの入力処理を行います。</p>

Q	オークション、フリーマーケット、リサイクルショップ、古本屋等への売却による収入の計上方法はどのようにすればよいのでしょうか。
A	<p>売却代金を現金で受け取った例で説明します。</p> <p>入力処理の「現金」画面から、日付「売却日」、内容「売却品目名やオークション名」、相手科目「特別収入ーその他特別収入」、金額「売却金額」を入力し、「登録」ボタンをクリックします。</p> <p>なお、当該売却品が「初期設定」の「車両」「高額品」に計上している物品の場合は、入力処理の方法が異なります。</p> <p>上記に計上している資産は、「初期設定」の段階で「残高」が設定されています。この「残高」とは、当該資産を売却した際に受け取る時価評価額（下取り価格の概算）です。このため、2つの入力処理が必要になります。</p> <p>「高額品」に残高30,000円で計上していた「ブランドバッグ」をリサイクルショップで売却し、売却代金35,000円を現金で受け取った場合を例に説明します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入力処理の「現金」画面から、日付「売却日」、入出金「入金」、内容「リサイクルショップ売却」、相手科目「高額品ーブランドバック」、金額「30,000」を入力し、「登録」ボタンをクリックします。 2. 同じく入力処理の「現金」画面から、日付「売却日」、入出金「入金」、内容「ブランドバッグ売却」、相手科目「特別収入ーその他特別収入」、金額「5,000」を入力し、「登録」ボタンをクリックします。 <p>※売却代金を銀行振り込みで受け取った場合は「普通預金」入力画面、カードポイントで受け取った場合は「カードポイント」入力画面から、同様の処理を行います。</p>
	「出力」と「分析」について
Q	食糧費の内容の分析、たとえば、野菜とか果物に費目別に分けるとか、スーパー、コンビニとかショッピングセンターとかに、購入場所別に分類することはできますか。
A	<p>できます。ただし、入力処理を行う際の「内容」に、費目名（野菜、果物など）や購入場所（スーパー、コンビニなど）を記録しておく必要があります。</p>

	<p>また、「分析」の「科目月別残高」をクリックして開き、左カラムの「科目選択」から「食糧費」をクリックすると「月別残高」が表示されます。分析したい月を選び「明細」をクリックすると、当該月・当該科目の元帳（明細）が開きます。この「元帳」で「CSV への書き出し」をクリックすると、CSV 形式でデータを保存することができます。</p> <p>PC に保存した CSV データをエクセルなどの表計算ソフトに取り込み、自分達の目的に合わせて並べ替えたり、部分集計を行ったりして、分析することができます。</p> <p>内容を分析する目的は個人個人で異なりますので、CSV に書き出されたデータを自分達の目的に合った方法で加工・分析されると良いと思います。</p>
Q	「予算実績対照表」の「財産対照表」で毎月の予算を入力しましたが、「留保財産」の予算金額が自動計算されません。
A	<p>予算実績対照表の財産対照表の予算の留保財産の数字は、集計計算されないように作られています。</p> <p>それは、予算の場合、財産対照表と消費損益計算書の当期消費損益の金額が一致しなくなるためです。</p> <p>予算では、消費損益計算書の当期消費損益のほうが必要とされるからです。</p>
Q	食糧費、交通費など月別にその推移を知りたいのですが、その方法がありますか。
A	<p>分析の「消費損益月次推移表」をクリックすると、「収入」「消費」「特別収入」「特別消費」の全科目の月別推移が表示されます。</p> <p>「消費損益月次推移表」のデータは、左上のフロッピーディスクボタンをクリックするとエクセル形式または PDF 形式で保存することができます。</p> <p>エクセル上で加工することで、目的に合わせた分析が可能になります。</p>
Q	「家庭決算書（消費損益計算書と財産対照表）」は、1 カ月間の入力が終わってから見るものでしょうか。
A	特に決められていません。消費損益計算書と財産対照表は、入力処理画面でデータが登録されるごとに自動計算されて、常に最新の入力データに更新されますので、いつでもチェックすることができます。
Q	食糧費などの入力データを品目ごとに並べ替えるなどして分析したいのですが、方法がありますか。

A	<p>はい、あります。「科目月別残高」で食糧費を選択し、「元帳」ボタンをクリックすると、月毎の日別明細一覧が表示されます。右肩にある「CSV ファイルに書き出す」ボタンをクリックすると、CSV ファイルとしてデータ保存ができます。エクセルなど表計算ソフトの機能を利用して、入力データの加工・分析が可能となります。</p>
	<p>その他</p>
Q	<p>このパソコンを新規に購入しましたが、シリアルナンバーを忘れてしまいました。再発行は、出来るのでしょうか。</p>
A	<p>代金のお支払い及びライセンスキーの管理は、すべてベクター社にお願いしてあります。</p> <p>したがって、この件については、直接ベクター社のほうへ問い合わせをしていただきたいと思います。</p> <p>(参考)</p> <p>ベクター社の再発行のサービスは、つぎのようになっております。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) ベクター社のホームページのトップを開く (2) ご利用案内の利用者の方へをクリック (3) PC ショップをクリック (4) Q&A お問い合わせをクリックし (5) ライセンスキー到着後（ライセンスキーが正しく認識されない）をクリック <p>してください。</p> <p>また、URL は、次のようになっています。</p> <p>http://shop.vector.co.jp/service/man/faq.html#Q022</p>